

中部生産性本部 革新的製品創出サロン
企業会員及びご関係の皆様

2023年11月吉日

中部生産性本部の小澤理夫でございます、お世話になります。
革新的製品創出サロン有志による台湾交流訪問を予定通り完了し、11月6日に全員無事に帰国したことを報告いたします。

訪問団は別紙1のように、(株)鈴木化学工業所の小幡 和史社長を団長とし、企業5社（大矢伝動精機(株)、三栄ポリウレタン(株)、(株)鈴木化学工業所、宮崎エンジニアリング(株)、(有)名南機械製作所）+サロン事務局（全体コーディネーター小澤）の構成です。

台湾での訪問・面談は別紙2のように

- ・工場見学3社（世紀貿易／新北市、嘉彰集団／桃園市、鷗群科技／台中市）
- ・団体訪問2機関（TJPO／台北市、IMC 全国大会／嘉義市）
- ・教授面談2氏（台湾東海大学劉教授、静岡文化芸術大学曾根教授）の旅程を4泊5日でまわりました。

ご参考として、別紙3にIMC 全国大会（第51回）開催への篠原氏（昨年度第5回講師、本訪問の提案者）からのご祝詞、別紙4に嘉義市にちなんだ映画「海の向こうの甲子園」の資料を添付します。位置づけが感じ取れるかと存じます。

今回訪問の所感として、大まかには、台湾企業のバイタリティに驚愕し、ホスピタリティに感謝した台湾行でしたが、モノづくりを示す言葉の“彼我の差”は

- ① 良いモノづくりから→売れるモノづくりへの変化、
- ② 内向きから→外向きへの変化、

この雰囲気の違いが訪問企業の皆様の興味を引いたのではと推察します。

（帰国後に台湾研究所からの見学要請、IMC 企業からのサロン見学希望等もあり。）

第3回サロン（11月30日木曜）でもワンコインミーティングで小幡社長から概要報告が予定されていますので、会員企業の皆様にご参加頂ければ幸甚です。

宜しくお願い致します。

*****（一財）中部生産性本部*****

中堅中小企業の事業革新・チャレンジサポート

全体コーディネーター 小澤 理夫（携帯 090-9949-5433）



革新的製品創出サロン有志者台湾交流訪問

November 2nd-6th, 2023

台湾交流訪問ツアー 参加者リスト (印刷用) (敬称略・組織名 五十音順)

No	組織名	役職・氏名	QR
1	<p>大矢伝動精機(株)</p>  <p>機械工具・伝動機器の総合商社 大矢伝動精機株式会社 https://www.ods-co.jp/</p>	<p>代表取締役 大矢 顕 Akira Oya</p>	
2	<p>三栄ポリウレタン(株)</p>  <p>ウレタンの便利屋 三栄ポリウレタン株式会社 https://www.sanei-pur.co.jp/</p>	<p>代表取締役社長 三浦 洋臣 Hiroomi Miura</p>	
3	<p>(株)鈴木化学工業所</p>  <p>株式会社 鈴木化学工業所 SUZUKI CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD. https://www.suzukikagaku.co.jp/</p>	<p>訪問団 団長 Leader 代表取締役社長 小幡 和史 Kazuhumi Obata</p>	
4	<p>宮崎エンジニアリング(株)</p>  <p>宮崎エンジニアリング株式会社 http://www.miyazaki-mec.co.jp/</p>	<p>代表取締役社長 犬伏 邦夫 Kunio Inubushi</p>	
5	<p>(有)名南機械製作所</p> <p>有限会社 名南機械製作所 https://www.meinan-kikai.co.jp/</p>	<p>代表取締役社長 小林 幸雄 Yukio Kobayashi</p>	

【スタッフ】

1	<p>(一財)中部生産性本部</p>  <p>一般財団法人 中部生産性本部 https://www.cpc.or.jp/cpc/publics/index/104/</p>	<p>革新的製品創出サロン 全体コーディネーター 小澤 理夫 Tadao Ozawa</p>	
			合計 6名

一般財団法人中部生産性本部

10年先の経営に資する技術革新を目指し、企業の総合力を磨く

Innovative Product Creation Salon

革新的製品創出サロン

Gateway to Open Innovation

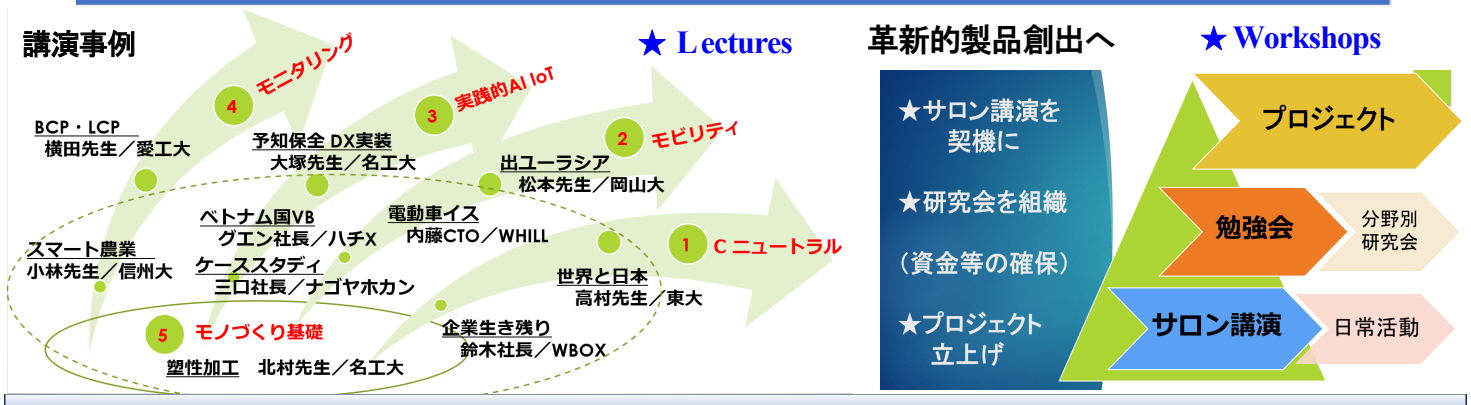
サロン講演を契機に 産産および産学連携を通じて
中堅中小企業の保有技術を結集し 革新的製品創出を支援

講演事例

★ Lectures

革新的製品創出へ

★ Workshops



Showcase 支援事例



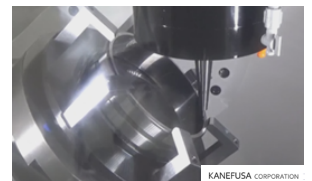
★Advanced Teapot



★H2 Gas Inhaler



★New Top Sealer



★Low Friction Texture

◆ 技術スタッフ Secretariat

◆ サロン会員募集中 Contact us

S.Asai
◆ 浅井 滋生

K.Yotsumoto
◆ 四本 喬介

T.Ozawa
◆ 小澤 理夫



中部生産性本部ホームページよりお申し込みください。

<https://www.cpc.or.jp/cpc/publics/index/104/>

中部生産性本部

検索



Scan the QR Code

Chubu Productivity Centre
一般財団法人中部生産性本部

別紙2 《革新的製品創出サロン有志者台湾交流訪問日程表（最終）

2023/10/30

台湾 IMC 事務局：蔡 照益

主催：中部生産性本部革新的製品創出サロン 会員有志者（窓口 小澤 理夫）

団長：革新的製品創出サロン 会員 小幡 和史

事務局長：全体コーディネーター 小澤 理夫。

日 付	ス ケ ジ ュ ー ル	備 考
11/2 (木)	<p>CI151 中部国際空港発 09:50 桃園空港着 12:15</p> <p>午後 TJPO 本部訪問。15:00-16:00 静岡文化芸術大学曾根先生ゼミ生6名と合流 經濟部台日産業合作推動事務所 (TJPO)。 本部：台北市民生東路四段133号10F (B室) お茶の街：16:30-17:00。 (大山茶芸-孫店長) 台北市松江路469巷1号。 会食：18:00-20:00 逸香楼。(莊總經理) 台北市南京東2段69号</p>	<p>篠原様が空港お迎え MRTで台北市内ホテルに移 動</p> <p>宿泊： グリーンワールドグランド 南京ホテル 台北市南京東路三段8号</p>
11/3 (金)	<p>企業訪問 静岡文化芸術大学曾根教授とゼミ生5名ホテルにて合流 9:30 貸切バスホテル出発。 午前：世紀貿易 (新北市) 見学。 日時: 11/3 (金) 10:30~14:15 場所: 世紀貿易本社 (新北市新莊區五權一路1號3樓) 連絡先: 蔡秘書 0925-350892。 スケジュール: 09:30 ホテル→世紀貿易まで移動 10:30 世紀グループ会社説明 11:00 サロンメンバー5社の各社紹介 11:30 本社オフィス&ショールームの視察 12:15 昼食・写真撮影・トイレ休憩 昼食は同社から弁当の提供あり。 13:00 世紀グループ各工場視察 (1. 世文科技 2. 悠瑪光復廠 3. 文威科技) 14:15 世紀→桃園 (嘉彰社) へ移動 午後：桃園嘉彰会社 15:30-17:00 (連絡先: Maggi) 桃園市蘆竹區南山路二段205巷45號。 夜：晚餐会。 17:30-19:30 (嘉彰会社案内)</p>	<p>宿泊：同上</p>
11/4 (土)	<p>午前 新幹線移動 篠原様と蔡照益同行。 午前8:20 台北駅入口東門3号合流 11/4 (土) 新幹線 台北-嘉義 08:46-10:13</p>	<p>宿泊：嘉義 エバーグリーンホテル</p>

日 付	スケジュール	備 考
	バス移動、連絡先：劉玉璽 0905-567557 IMC 会場着 11：30、11：30-12：00 展示設営。 昼食：大会提供あり。 12：40-17：30 台湾 IMC 全国大会 式典臨席。 19：00-20：30 IMC 晩餐会。 21：00-22：30 飲み会。	個室：4 名 ROOM：シングルベッド二つ 二名：小林 幸雄、小澤 理夫。
11/5 (日)	午前：9：00-11：30 嘉義南故宮博物館參觀活動。 午後： 13：30-14：00 IMC 大会交替式典。 14：10-14：30 大会閉会式典。 14：30-16：00 台中 IMC 貸切バス移動、 16：00-17：30 台中長榮ホテルチェックイン後、自由活動。 18：00-20：00 会食。 会食は、東海大学劉教授を招いて懇談する、場所はホテルの近くを予定。 宿泊：台中エバークリーン 8 個室。同行者：篠原、蔡照益。	
11/6 (月)	午前：09：00 貸切バス移動 ホテル出発。 10：00-12：00 欧群会社見学。 昼食：12：00-13：30 欧群会社が同席。 午後：14：00-14：36 新幹線台中駅発桃園駅着、桃園空港移動。 CI151 桃園空港発 17：15 中部空港着 20：50	

【革新的製品創出サロン有志者 11 月台湾交流訪問団一覽表】

	組織名	部署・役職	氏名
1	大矢伝動精機株式会社	代表取締役	大矢 颯 Akira Oya
2	三栄ポリウレタン株式会社	代表取締役社長	三浦 洋臣 Hiroomi Miura
3	株式会社鈴木化学工業所	代表取締役社長	小幡 和史 Kazuhumi Obata
4	宮崎エンジニアリング株式会社	代表取締役	犬伏 邦夫 Kunio Inubushi
5	有限会社名南機械製作所	代表取締役社長	小林 幸雄 Yukio Kobayashi
1	一般財団法人 中部生産性本部	革新的製品創出サポート 全体コーディネーター	小澤 理夫 Tadao Ozawa

1) アドバイザー：大同特殊鋼 元顧問

蓬萊会副代表

台湾国際工商経営研究社全国連合会 (IMC) 日本親善大使 篠原 徹。

2) 同行者：台湾国際工商経営研究社全国連合会 (IMC) 国際委員会副委員長

AOTS 台湾同窓会事務局長 蔡照益。

別紙3. 日本親善大使 篠原徹氏よりの祝辞



本日、第51回台湾IMC連合会全国大会がここ嘉義において盛大に開催されますことをお祝い申し上げます。

また、51代理事長何勇魏様のこれまでの御尽力に心から敬意を表します。

さて、世界に目を転じますと、ロシアによるウクライナ侵攻をはじめとして厳しい情勢が続いております。そうした中で、本年5月に広島で開催されました、G7サミットにおいては、台湾海峡の平和と安定の重要性が岸田総理のリーダーシップの下に確認されました。

私は、自由と民主主義、平等、人権保護、法の支配を基本的価値とする、G7をはじめとする西側諸国が、台湾も同じ価値を共有する同朋であるとの認識を改めて確認したものと

して、これを高く評価しております。

コロナによる出入国規制も昨年10月によく緩和され、日台間においては、政治家や経済界、そして観光交流も盛んになってまいりました。こうした日台間の人的交流こそが日台間の信頼関係や「絆」をつくる基礎であると思います。IMCの皆様方におかれましても、この一年間活発な活動をしていただいておりますことを誠にうれしく存じます。

本年2月には、何勇魏理事長を団長として日本商工会議所青年部（YEG）の秋田大会にご参加いただきました、6月にYEG木村会長様以下理事八木橋様、国際委員長青木様、高級顧問齊藤様の方々が台中で相互交流いただきました。

また、AOTS台湾同窓会におかれましても、3月には、大阪のAOTS研修センターで実施されました、次世代継承事業に30名のIMCメンバーの皆様にご参加いただきました、そして先月には張金泉常務監事を団長とする理事、監事などの幹部の方々がAOTS本部と日本商工会議所本部を訪問していただきました。

私自身も昨年11月以来、台湾を訪問するのは、今回で4回目となりますが、本日は名古屋にありますが**中部生産性本部革新的製品創出サロンの皆様6名**と次世代継承事業でお世話になりました静岡文化芸術大学曾根秀一教授及びそのゼミの学生さんの6人を案内して本大会に参加させていただいております。

IMCの皆様から温かいおもてなしをいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

私は、もとより微力ではありますが、日本親善大使として、こうした日台間の人的交流に今後とも努めてまいりたいと存じますので、引き続きご指導とご支援の程よろしくお願い申し上げます。簡単ではございますが、私のご挨拶いたします。ご清聴ありがとうございました。

2023年11月4日

日本親善大使

篠原 徹

祝賀詞（翻譯版）

今日恭喜 2023 年台灣 IMC 全國大會在嘉義盛大召開之際，特此表達衷心的祝賀。
對 51 屆理事長何勇魏先生帶領下全力的努力貢獻表示衷心的敬意。

現在、把目光轉向世界、包括俄羅斯入侵烏克蘭、局勢情況依然嚴峻。在此情況下、今年 5 月在廣島舉行的 G7 高峰會上、在岸田首相的領導下、確認了台海海峽和平穩定的重要性。

個人高度認同其基本價值是自由、民主、人權保護和法治、而以 G7 為首的西方國家的肯定、承同台灣是擁有相同價值觀的共同國家。自去年 10 月之後受新冠肺炎疫情影響的出入境限制終於放寬、台日政界、商界、觀光業的交流變得更加日益活躍。確信日本與台灣之間的這種民間交流是建立日本與台灣之間信任和「絆」關係的基礎。很高興見到 IMC 的每個人在過去的一年裡都如此積極地開展活動。

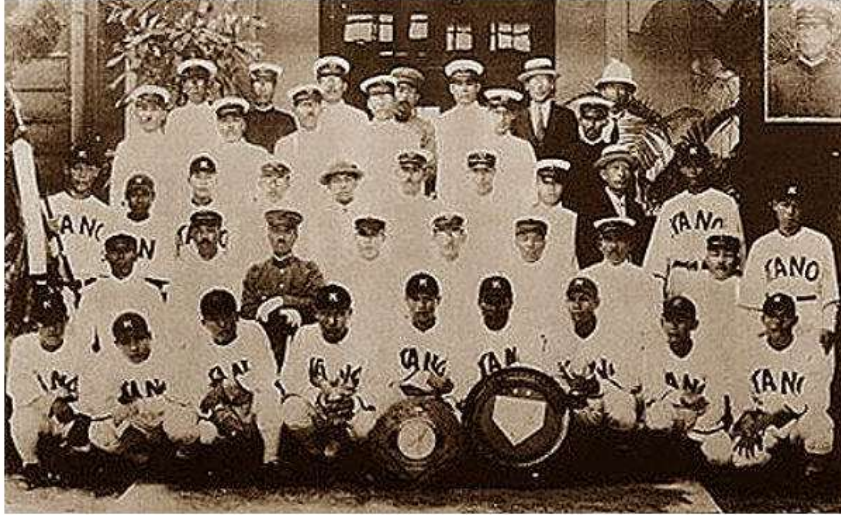
今年 2 月、何勇魏理事長的帶領下、參加了日本商工會議所青年部 YEG 秋田全國大會。同年六月、日本商工會議所青年部 YEG 木村會長、神林專務理事、國際委員會青木委員長、高級顧問齊藤回訪到台中進行交流。

另外、關於 AOTS 台灣同學會、3 月有 30 名 IMC 會員參加了在大阪 AOTS 培訓中心舉辦的二代傳承接班課程、上個月（10 月）以張森烈理事長為首的理監幹部人員訪問了 AOTS 東京總部和日本工商會所總部。

這是我自去年 11 月以來第四次來台、今天帶領名古屋中部生產力本部創新產品創造商談中心的六位企業人士、及指導 IMC 二世代繼承講座的靜岡藝術文化大學曾根教授及其研究班的學生六位很榮幸參加了本次全國大會。

總結對 IMC 大家的熱情接待表示衷心的感謝、身為台灣 IMC 日本親善大使、繼續為日本與台灣的民間交流而努力、也請大家繼續指導和支持。最後、敬祝大家身體健康、萬事如意、
感謝大家！

台湾人「泣いた」日本統治下で甲子園を目指した台湾人の物語



日本統治下の台湾で甲子園をめざした野球チームを題材にした映画が27日より台湾で公開されます。

近藤兵太郎監督が指導した嘉義農林学校（KANO）は原住民、台湾人、日本人で構成された完全実力主義の野球チームで、1931年の第17回甲子園に初出場ながら日本の強豪チームを圧倒して準優勝を果たしました。



日本では 2015 年に公開されました。

右図は今回の訪問団に贈呈された帽子です。→

